

平成19年10月15日

報道機関各位

東北大学大学院医学系研究科

南東北3大学でがん治療専門家養成に関する協定を締結
(東北がんプロフェッショナル養成プラン)

<概要>

東北大学大学院医学系研究科、山形大学大学院医学系研究科、福島県立医科大学は、がん専門医療者を系統的に養成していくことを目的として、3大学大学院が協力連携して実施する東北がんプロフェッショナル養成プランに関する協定を締結することになりました。ついては、このことについて報道していただきますようお願いいたします。

1. 日 時： 平成19年10月16日（火）16時30分から
2. 場 所： 東北大学医学部 1号館 2階大会議室
仙台市青葉区星陵町2-1
3. 出席者： 東北大学大学院医学系研究科長
山形大学大学院医学系研究科長
福島県立医科大学副学長

(注) 別紙にプラン概要を添付します

(お問い合わせ先)

東北大学加齢医学研究所 腫瘍制御研究部門 教授 石岡千加史
TEL 022-717-8542 FAX 022-717-8548

南東北にがん治療の専門家養成拠点
「東北がんプロフェッショナル養成プラン」

わが国では今でも一生涯のうち3人に1人ががんで死亡すると言われ、死亡率第1位の疾患ですが、がん診療の専門家が全国的に少なく、その養成が急務とされています。また、近年の高度化したがん医療の推進は、がん医療に習熟した医師、薬剤師、看護師、その他の医療技術者の各種専門家が参画し、チームとして機能することが重要となっています。

このたび、宮城、山形、福島以南東北の3県が連携し、東北大学、山形大学、福島県立医科大学が協力してがん専門医療者を系統的に養成していくことを決め、南東北のがん撲滅をめざしていくものです。

わが国のがん医療水準向上のためには、不足する放射線治療医、がん薬物療法専門医、緩和ケアなどがん治療の専門家の育成が不可欠であり、国のがん対策の1つである文部科学省の平成19年度予算・がんプロフェッショナル養成プランに、東北大学を中心に、山形大学、福島県立医科大学が連携する「東北がんプロフェッショナル養成プラン」が採択されました。この養成プランは、3大学3県が連携してがん専門医療人を養成する広域連携プランで、大学院を中心として、各大学の資源を生かした時間・空間を越える教育システムを構築し、3県の大学病院と全てのがん診療連携拠点病院が参加してがん医療人を育成するほか、大学、病院、自治体、職能団体が一体となって臨床試験・がん登録を推進する地域の枠組みを構築する計画です。

具体的には、3大学大学院に、腫瘍専門医養成コース（博士課程）10コース、コメディカル養成コース（修士課程）7コース、インテンシブ・コース（社会人のための大学院科目履修）18コースの合計35コース（東北大学19、山形大学8、福島医大8コース）を設置します。そして、この連携拠点から、放射線治療専門医、がん薬物療法専門医、乳腺専門医、婦人科腫瘍専門医などの専門医を年間20人以上、専門看護師、専門薬剤師、医学物理士などの専門的コメディカルを年間20人以上養成することを目標にしています。将来的には医療機関にがん専門医療者を配置するとともに、大学・拠点病院に指導者を確保し、南東北のがん撲滅を3県が一体となってめざしていくことにより、わが国のがん医療水準の向上を図るものです。

学生の受け入れは平成20年度からとし、大学間単位互換、大学・病院間連携、インターネットスクールの活用、社会人入学の推進など、従来の大学院教育の枠組みを超えた広域プロフェッショナル養成システムです。

（図表）図1：プラン概要、 図2：各大学のコース、 図3：組織概要

図1 充実した大学院カリキュラム -高い専門性を確保した講義・実習-

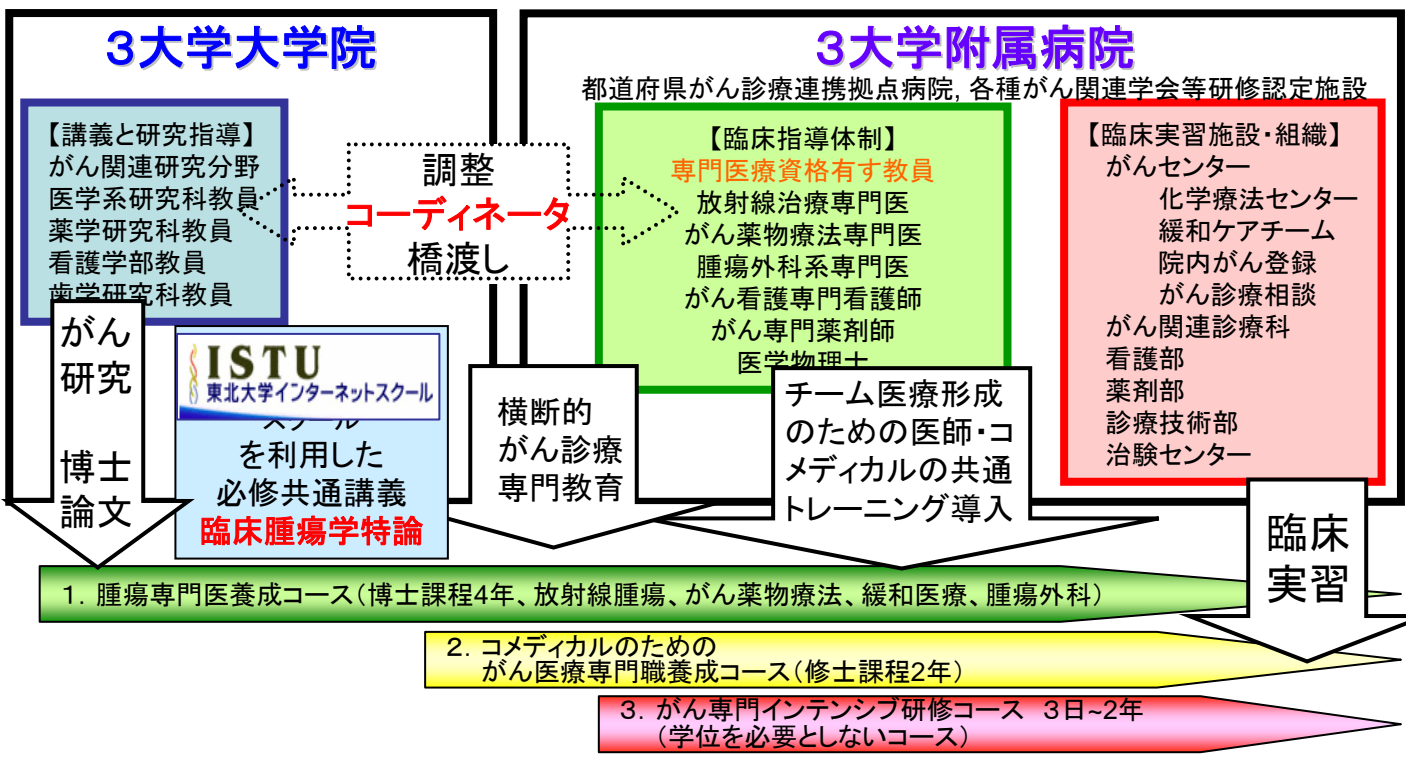


図2 3大学35コース(東北大学 19、山形大学 8、福島医大 8コース)

1. 腫瘍専門医養成コース 3大学10コース

博士取得と腫瘍専門医資格取得を目指す
日本がん治療認定医機構・がん治療認定医資格取得対応
日本放射線腫瘍学会・認定医
日本医学放射線学会・専門医(治療)
日本臨床腫瘍学会・がん薬物療法専門医
日本乳癌学会・乳腺専門医
日本婦人科腫瘍学会・婦人科腫瘍専門医

2. コメディカル養成コース 3大学7コース

修士取得と専門医療資格取得を目指す
がん看護専門看護師
がん専門薬剤師
医学物理士・品質管理士
乳腺腫瘍専門診療放射線技師

3. インテンシブコース 3大学18コース

専門性向上を目指した病院実習
特殊放射線治療、がん薬物療法、乳腺外科、婦人科腫瘍、
がん治療認定医、がん専門薬剤師、品質管理士、がん口腔ケア、院内がん登録実務など

通) 臨床腫瘍学特論(大学間、コース間共

がんプロ合同講義(高度な専門教育)

療) 病院実習(ローテーション・チーム医

領域横断的・チーム医療教育を取り入れた教育カリキュラム

図3 東北がんプロフェッショナル養成プランの組織概要



東北がん評議会

議長： 東北大・院・医学系研究科長、副学長
副議長： 山形大・院・医学系研究科長
福島医大・副学長
評議員： 東北厚生局長、宮城県病院管理者
宮城県保健福祉部医療健康局長
山形県健康福祉部長、福島県保健福祉部長、3県医師会長、宮城県・福島県看護協会会長、宮城県・山形県病院薬剤師会長、宮城県・山形県放射線技師会長、3大学病院長、3県の全がん診療連携拠点病院長、統括・分担コーディネータ

運営委員会

委員長：統括コーディネータ
委員：各大学分担コーディネータ
各コース責任者
その他

評価委員会

委員長：宮城県対がん協会長
委員：患者団体代表、経済界代表など外部から有識者から選出予定

統括・分担コーディネータ

山形大学
医学系研究科
医学専攻
生命環境医科学専攻
医学部がんセンター
医学部附属病院

東北大学
医学系研究科
医科学専攻
保健学専攻
薬学研究科
医療薬科学専攻
歯学研究科
歯科学専攻
東北大学病院
がんセンター

福島医大
医学系研究科
分子病態医科学専攻
看護学研究科
がん看護学領域専攻
医学部附属病院
臨床腫瘍センター

連携病院

宮城・山形・福島3県の全てのがん診療連携拠点病院・全がん協施設(含む大学病院)

報告 提言 報告 評価